

平成28年度 稲城市海外姉妹都市検討市民会議作業部会 報告書

1 はじめに

稲城市海外姉妹都市検討市民会議作業部会（以下「作業部会」という）は、第1回市民会議にて、候補地や交流事業等について集中審議を行うために設置が決定されました。以降、下記のとおり審議を重ね、作業部会としての結論を得たので報告いたします。

2 作業部会 構成員

部会長	中家 敬士	[文化・体育分野]	(稲城市体育協会)
委員	松本 一宏	[経済活動等分野]	(稲城市農業委員会)
委員	城所 正彦	[教育分野]	(稲城市教育委員)
委員	石橋 良生	[地域活動分野]	(稲城市青少年育成地区委員会正副委員長会)
委員	藤田 佑二	[国際交流実績団体分野]	(稲城国際交流の会)
委員	原 忠男	[公募分野]	(公募市民)
委員	小山 良夫	[公募分野]	(公募市民)

3 作業部会 検討経過・結果

会議	開催日	開催場所	検討内容	検討結果
第1回	7月28日	地域振興プラザ 商工会中会議室	<ul style="list-style-type: none"> 部会長の選出 交流事業及び候補地について 	<ul style="list-style-type: none"> 交流事業及び候補地について意見交換を行い、「<u>フォスターシティ市を候補地として検討を進めるとともに、他に候補地にできるものがあれば並行して議論して行く</u>」ことが、挙手全員で一致した。
第2回	8月30日	稲城市役所6階 602会議室	<ul style="list-style-type: none"> 稲城市民の持つ海外ネットワークの調査結果等について フォスターシティ市について 	<ul style="list-style-type: none"> 稲城市民の持つ海外ネットワークの調査（調査対象：稲城国際交流の会の会員、いなぎICカレッジ市民ボランティア理事及び市民ボランティア講師）の結果を基に、市民の国際化の現状を検討するとともに、<u>当該アンケートで提案された「稲城市と姉妹都市関係を結ぶと良いと考えられる都市」及び、次回の作業部会までに各委員から提案される都市を、候補地検討リストとしてリストアップすることになった。</u> フォスターシティ市との交流事業等について意見交換を行い、「<u>次回の会議で、フォスターシティ市を候補地として検討を進めるとともに、フォスターシティ市と並行して議論していく他の候補地について絞り込みを行う</u>」こととなった。
第3回	9月29日	地域振興プラザ 商工会中会議室	<ul style="list-style-type: none"> 海外姉妹都市の候補地の絞り込みについて 	<ul style="list-style-type: none"> <u>海外姉妹都市候補地検討リスト（21都市）に基づき、候補地の絞り込みを行い、第1回目の作業部会で候補地としたアメリカ合衆国カリフォルニア州フォスターシティ市に加え、イギリスウェールズ スウォンジー市と、オーストラリア クイーンズランド州 ケアンズ市を候補地として選定した。</u> ※海外姉妹都市候補地検討リスト（21都市）内訳 <ul style="list-style-type: none"> ①昨年度から継続審議されている都市（6都市） ②アンケート調査により、ICカレッジの方から提案された都市（2都市） ③新たに作業部会の委員から提案された都市（13都市）
第4回	10月13日	地域振興プラザ 商工会中会議室	<ul style="list-style-type: none"> 交流事業について 海外姉妹都市交流を実施する組織について 	<ul style="list-style-type: none"> 交流事業を議論する中で、候補地を限定しなければ議論にならないとの意見があり、作業部会として、第1回部会で決まったとおり、<u>候補地はフォスターシティ市と確認した。</u> なお、<u>スウォンジー市とケアンズ市は次点候補とし、今後立ち上げる予定である（仮）交流協会において、将来的な交流事業の1つとして検討することは可能という結論となった。</u> 海外姉妹都市提携後は、交流事業を進める実施主体として、<u>（仮）交流協会を立ち上げていくのが望ましい。</u>

4 結論

海外姉妹都市の候補地はフォスターシティ市とし、スウォンジー市、ケアンズ市を次点とする。交流事業は、フォスターシティ市から希望や提案のある教育交流やスポーツ交流を中心に考える。また、海外姉妹都市提携後、（仮）交流協会を立ち上げて交流事業を実施するのが望ましい。

■作業部会で決した候補地について

1 確定候補地

各種選定条件と合致すること。先方で稲城市との姉妹都市提携の希望があることから、フォスターシティ市を海外姉妹都市の確定候補地とする。

国名	自治体名	推薦者等	特徴等	交流実績等	渡航経路	姉妹都市等	稲城市との姉妹都市提携の意思	交流事業案	賛成意見	反対意見
アメリカ合衆国 (カリフォルニア州)	フォスターシティ市	平成27年度海外姉妹都市提携検討市民会議から継続審議	<p>【位置】 サンフランシスコ空港から約10km</p> <p>【特性】 ・シリコンバレーのIT企業従業員や日系企業の駐在員が在住するベイエリアの高級住宅街。 ・ソニー・コンピュータエンタテインメントのアメリカ法人などが所在。 ・平均気温は5月～9月で20℃、10月～4月で10℃～15℃。 ・カリフォルニア州は西海岸に位置しており地震がある。</p> <p>【名所】 サンフランシスコ湾を埋め立てて、湾の水を引き込んだ人工運河やラグーン</p> <p>【人口】 約3万人</p> <p>【人種】 白人:45.5%、アジア人:45.0%</p> <p>【総面積】 20平方キロメートル</p> <p>【外務省危険情報】 なし</p>	平成27年8月に稲城市が訪問	<p>↓(1時間) 【羽田空港】</p> <p>↓飛行機(10時間) 【サンフランシスコ空港】</p> <p>↓車(約10km)</p> <p>移動時間: 約12時間</p>	なし	<p>■フォスターシティ市は稲城市との姉妹都市提携を希望している。</p> <p>【経緯】 フォスターシティ市の日系市議(27年11月任期満了)が姉妹都市提携先を探していたところ、当時の在サンフランシスコ日本国総領事館の領事の方(若葉台に10年近く住んでいた)から稲城市を紹介され、先方も稲城市との姉妹都市提携を希望するようになった。</p> <p>※H28.8「稲城市が引き続き姉妹都市提携を希望するならば、喜んで前に進めたい。」との回答をいただいている。</p>	<p>※フォスターシティ市から提案されている交流</p> <p>①教育交流 ・インターネット、スカイプを活用した交流 ・手紙(グリーンディングカード)の交換 ・青少年の交換派遣(ホームステイ、学校訪問(シャドースチューデント)、シリコンバレーの企業視察等)</p> <p>②スポーツ交流 ・少年野球交流 ・サッカー交流 ・読売ジャイアンツ、東京ヴェルディ、日テレベレーザを通じた交流</p>	<p>・稲城市との姉妹都市提携を、向こうから希望しているという事実がある。 ・平成27年度の4回の会議の中で、過去の交流実績ときっかけという部分で、フォスターシティ市を推すべきところであると思う。 ・フォスターシティ市も非常に有望だと思う。 ・オーストラリアなどが良いかと、自分なりに調べてみたが、やはり、向こうからオファーのあるフォスターシティ市が一番だと思う。 ・3都市が候補地として挙がっている中で、確実性が高いのはフォスターシティ市だと思う。 ・フォスターシティ市は実際に手を挙げていたのだから、ここに絞った形で話を進めた方が良いと思う。 ・昨年1年間の議論は、資料『平成27年度稲城市海外姉妹都市提携検討市民会議「主な意見の分類」』に集約されており、キーパーソンがいるのか、過去の交流実績、きっかけがあるのか、そこから探していくという話であったので、3都市の中で、本会議で、俎上に載せるのはフォスターシティ市しかないと思う。</p>	<p>・フォスターシティ市の件を色々調べたが、高級住宅地であり、お金持ちでないといけないという、逆に言うところの特異な場所だと思ふ。アメリカ国内でも、他の都市と比較すればどうかというのは別問題としてあると思う。 ・例えば、商業だとか農業の交流については、フォスターシティ市の性格上、計画都市であり、非常に高級な住宅地ということから考えても、そういう交流は厳しいと思う。 ・フォスターシティ市はたまたま、昨年に市長が行って、また、取り次ぎをする方が一人入ったので、一歩二歩進んだだけである。 ・フォスターシティ市について良く調べると、スケールの問題から始まり、新しい都市であるなど、欠点が見えてくる。</p>

2 次点候補地

スウォンジー市及びケアンズ市については、交流事業の実施まで動案すると、現時点では、候補地としてフォスターシティ市に並ぶ都市とは判断できなかったため、次点候補地とする。なお、今後組織される(仮)交流協会の将来的な交流事業の1つとして検討を進めて行くことは可能である。

国名	自治体名	推薦者等	特徴等	交流実績等	渡航経路	姉妹都市等	稲城市との姉妹都市提携の意思	交流事業案	賛成意見	反対意見
イギリス (ウェールズ)	スウォンジー市	稲城国際交流の会(小山委員)	<p>【位置】 ロンドン西方約250km。</p> <p>【特性】 ・英国西方のウェールズ南部で、プリストル湾に面した美しい海岸リゾート都市、工業都市。 ・スウォンジー大学があり、国際センターもあるため、留学等に適している。 ・イングランドプロサッカーリーグ加盟クラブ「スウォンジー・シティAFC」が、スウォンジーをホームタウンとしている。 ・年間平均気温10.7℃</p> <p>【名所】 ウェールズ大学スウォンジー校、スウォンジー城、美しい海岸(ビーチ)</p> <p>【人口】 約23万人</p> <p>【人種】 ウェールズ人とイングランド人</p> <p>【総面積】 378平方キロメートル</p> <p>【外務省危険情報】 なし</p>	1978～80年に現稲城市民(小山委員)が留学	<p>↓(1時間) 【羽田空港】</p> <p>↓飛行機(12時間) 【ヒースロー(ロンドン)】</p> <p>↓電車(3時間)</p> <p>移動時間: 約16時間</p>	<p>・マンハイム(ドイツ) ・ポー(フランス) ・コーク(アイルランド) ・フェラーラ(イタリア) ・オーフス(デンマーク) ・南通市(中国) ・ニューヨーク(米国)</p>	<p>■現状では確認できず。(意思確認の経過) ①在日英国大使館内ウェールズ政府日本代表事務所にて電話で問い合わせた結果、スウォンジーに直接連絡を取ることを推奨される。〔小山委員が確認〕 ②クリア(自治体国際化協会)に、スウォンジー市の担当者紹介を依頼→ウェールズ機関(都市外交事務を取仕切る部署)代表を通して時間をかけて検討していく必要あるとの返事。〔小山委員及び事務局が確認〕</p> <p>【クリアからの情報】 ・最近の風潮として、英国は新規で海外姉妹都市を結ぶことには消極的になっている。また、英国自治体では、姉妹都市提携を結ぶに当たっては、十分な住民説明が必要であり、市民へのメリットや歴史的背景がない状態で交流実施に至るのには極めて困難と考えられる。〔小山委員及び事務局が確認〕</p>	現状では希望する交流事業については不明	<p>・有名は国際的な大学もあり、それに従うハイスクールやエリメンタリースクール(小学校)など、そういう教育体系は非常にイギリス的なものを全て備えていて、色々交流をやるには持ってていてはいないかと思う。 ・反対する理由はない。 ・ケアンズ市、スウォンジー市の2つについては、個人的には、フォスターシティ市よりは色々な面で優れていると思う。 ・スウォンジー市はずっと歴史のある都市で、日本企業もたくさん進出している。</p>	<p>・昨年1年間の議論は、資料『平成27年度稲城市海外姉妹都市提携検討市民会議「主な意見の分類」』に集約されている訳で、この内容にはそぐわないと思う。 ・距離が少し遠いと思う。</p>
オーストラリア(クイーンズランド州)	ケアンズ市	稲城国際交流の会(小山委員)	<p>【位置】 オーストラリア大陸北東岸</p> <p>【特性】 ・珊瑚海に面する港湾観光都市 ・熱帯モンスーン気候で、雨季は11月～5月 ・マリンスポーツが盛ん。</p> <p>【名所】 2つの世界遺産:グレート・バリアー・リフと湿潤熱帯地域</p> <p>【人口】 約15万人</p> <p>【人種】 -</p> <p>【総面積】 488平方キロメートル</p> <p>【外務省危険情報】 なし</p>	稲城市民の知人が、ケアンズ市で日本語学校を運営	<p>↓(2時間) 【成田空港】</p> <p>↓飛行機(7.5時間) 【ケアンズ空港】</p> <p>↓車(30分)</p> <p>移動時間: 約10時間</p>	<p>・徳島県美波町(日本) ※1969年締結 ・ラエ(パプアニューギニア) ・シドニー(カナダ) ・スコッツデール(米国) ・リガ(ラトビア) ・湛江市(中国) ・栃木県小山市(日本) ※2006年締結</p>	<p>■現状では確認できず。(意思確認の経過) ケアンズ姉妹都市大使を通じて確認作業を行ったが、ケアンズ市が正式に姉妹都市の可能性を検討するために、稲城市長からケアンズ市長宛に文書を出してもらう必要があるとの返事があった。〔小山委員が確認〕</p> <p>※ケアンズは既に日本の2自治体と姉妹都市提携をしているが、近年では、「同じ国の中では姉妹都市は1都市」という風潮がある。〔事務局が確認〕</p>	現状では希望する交流事業については不明	<p>・私の視点からすると、ある意味、良い事づくめで、極端なことを言うと、フォスターシティ市と比べても引けを取らない都市だと思ふ。 ・距離的にも大変良、直行便もある。 ・英語以外に色々な国の言葉を小学校から習わせるという事があり、特に日本語を大変大事にしている。 ・日本との時差がほとんどないので、色々交流をやるには便利である。 ・ケアンズ市、スウォンジー市の2つについては、個人的には、フォスターシティ市よりは色々な面で優れていると思う。</p>	<p>・昨年1年間の議論は、資料『平成27年度稲城市海外姉妹都市提携検討市民会議「主な意見の分類」』に集約されている訳で、この内容にはそぐわないと思う。 ・他の日本の都市(徳島県美波町、栃木県小山市)が姉妹都市提携をしている現状では、難しいと思う。 ・小山市との関係が非常に強、毎年交流をやっている、何十人の学生が行ったりして、これに加えて稲城が入るというのは少し難しい可能性がある。 ・※小山市は、毎年20人から30人規模の生徒をショートステイで相互に送り出している)</p>

【都市の選定方法について】
都市の絞り込みに当たっては、平成27年度稲城市海外姉妹都市提携検討市民会議の検討で出た意見を踏まえて、以下のとおり選定の参考とした。

(1) 青少年健全育成ができること、(2) 教育交流ができること、(3) スポーツ交流ができること、(4) 文化交流ができること、(5) 過去の交流実績やきっかけがあること、(6) 英語圏であること、(7) 都市の規模が稲城市と似ていること、(8) 距離が近いこと、(9) 治安が良いこと

※これら基準を総合的に判断して、候補地としての是非を検討した。

■フォスターシティ市との交流事業例

分類	内容	事業例	対象	交流相手	実施方法例
教育交流	異なる環境の中で育まれてきた生活や文化に触れ、情操教育に役立たせるとともに、語学の修得等、教育の向上を図る。また、最先端の技術(シリコンバレーの企業)を知る事で、将来に夢を持つことを目指す。	インターネット、スカイプを活用した交流	市立小・中学校	フォスターシティ市立小・中学校(フォスターシティ市には小学校3つ、中学校が1つあるので、学校交流ができる)	学校の授業の中で実施(スカイプの場合、時差が17時間あるため、日本の9時が、フォスターシティ市では16時頃となり、実施も可能)
		児童生徒の作品(絵画、書道、読書感想文等)の交換展示	市立小・中学校	〃	学校や学級で実施
		手紙(グリーティングカード)の交換	市立小・中学校	〃	クリスマスカード、年賀状を送り合う
		青少年の交換派遣 ・ホームステイ ・学校訪問(シャドースチューデント) ・部活動体験 ・シリコンバレーの企業視察	小・中・高校生	学校・市民	【大阪府豊中市とアメリカ合衆国サンマテオ市との交流例】スピーチコンテスト優勝者が6泊8日のホームステイ。 [市からの補助]約20万円(渡航経費全額)、それ以上は自己負担
スポーツ交流	スポーツを通じ住民相互の親睦を図るとともに、技術の向上や健康の増進を図る。	少年野球交流	小・中学生	小・中学生	【大阪府豊中市とアメリカ合衆国サンマテオ市との交流例】隔年で行き来。4年に一度向こうに行き、4年に一度向こうからこちらに来る。 [市からの補助金]行く場合はチームへ30万円、迎える場合はチームへ10万円)
		読売ジャイアンツを通じた交流	小・中学生	小・中学生	・プロによる指導教室 ・試合の観戦
		サッカー交流	小・中学生	小・中学生	試合の実施
		東京ヴェルディや日テレベレーザを通じた交流	小・中学生	小・中学生	・プロによる指導教室 ・試合の観戦
		その他スポーツ交流	子ども～大人	子ども～大人	試合の実施
文化交流	異なる環境の中で育まれてきた生活や文化に触れ、市民の情操教育に役立たせるとともに、社会教育団体等の交流を通じ、技術の向上や文化芸術の普及を図る。	各種実施団体との交流(お琴、茶道、華道、書道、弓道、陶芸、舞踊、ダンス、獅子舞、太鼓、写真、合唱、盆踊り等)	各種実施団体	・芸術文化活動をしている団体 ・その他、日本の文化に興味のある方	【向こうへ行く場合】 毎週金曜日にはイベントが行われるので、そこで披露(パフォーマンス等)をすることもできる。 【来る場合】 日本文化を体験してもらう。
		祭り(いまつり、郷土芸能フェスティバル等)への参加	各種実施団体		
		展示会(いまつり芸術祭等)への出展	芸術文化団体連合会等		
		著名人を契機とした交流(大河原邦男氏)	市民		
		駒澤学園の交流(仏教・禅)	駒澤学園		
		その他、文化交流(神社、アニメ、歴史等)	市民		
施設交流	類似施設同士が姉妹施設提携する。	学校や図書館等の施設提携	各施設	フォスターシティ市の施設	特設コーナーを作り、相手の都市を紹介する。図書の寄贈等
防災・災害	災害時に相互に援助ができる体制等を整える。	消防の技術交流	消防団 消防署	フォスターシティ市の消防	お互いの技術を紹介し合う。
		募金(復興義援金)の実施	市民	行政	災害時に募金(復興義援金)を募り、送る。
観光	観光資源を相互に紹介し合う交流を通じて、観光事業の発展を図る。	観光ツアーの実施	市民	市民	ツアー参加者を募り、現地を訪問する。
		物産展での交流	企業・農業者等	企業・農業者等	物産の紹介と販売等
		広報紙やホームページ等で相手の市の紹介	行政	行政	広報紙やホームページ等で相手の市の紹介

※網掛けの部分は、フォスターシティ市から実施の希望や、提案があった部分

(裏面につづく)

分類	内容	事業例	対象	交流相手	実施方法例
組織同士の交流	各種組織・団体の交流を通じ、相互の発展を図る。	商工会の交流 (技術交流、技術提携、直接の契約、販路拡大、企業誘致等)	商工会	フォスターシティ市商工会及び北加日本商工会議所	団体同士で交流を行う。
		・ロータリークラブ ・国際ソロプチミスト ・青年会議所 (交流事業、姉妹クラブの締結等)	ロータリークラブ 国際ソロプチミスト 青年会議所	フォスターシティロータリークラブ (北サンマテオ郡国際ソロプチミスト) (JCI USA)	
農業交流	稲城の特産物である梨・ぶどうの紹介をはじめ、技術交流等を通じて相互の発展を図る。	梨・ぶどうの味覚の紹介	農業者	市民	稲城に来た方に味覚を味わってもらう会を開催する。
		ぶどうやワインを通じた交流(技術交流)	農業者	(北カリフォルニア)	視察や研修を実施する。
経済交流	商業・工業等の産業を通じ、相互の産業の発展を図る。	・商工会工業部会 ・企業同士の交流 (技術交流、技術提携、研修、直接の契約、販路拡大、企業進出等)	商工会	フォスターシティ市商工会及び北加日本商工会議所、企業	団体・企業同士で交流を行う。
			企業	企業	
留学	語学留学(英語・日本語)等の互いの持っている分野を勉強するための留学	語学(英語・日本語)留学	青少年～大人	青少年～大人	ホームステイなどを織り交ぜて、現地で生活する。
		その他留学	青少年～大人	青少年～大人	ホームステイなどを織り交ぜて、現地で生活する。
行政	行政職員のスキルアップを図るとともに、今後の継続的な交流に繋げる。また、市民が行きやすい環境を整えることにより、市民団体等との交流を促進する。	各種情報交換交流	行政	行政	メールや手紙等により、情報交換や今後の交流について意見交換を行う。

【交流事業の考え方についてのご意見】

- ・上記のように、様々な交流の可能性が考えられるが、最初から数多くの交流事業を始める訳ではなく、まずは限られた分野のできる交流から始めていき、徐々に交流の可能性を広げて行くのも良いと考える。
- ・フォスターシティ市からは、主に教育交流やスポーツ交流の希望や提案があることから、まずはその交流から始めるのが良いと考える。
- ・継続的に交流が行われるためには、お互いに無理のない形で進めて行くことが重要である。

【その他、ご意見】

- ・海外姉妹都市は、行政同士が結んで、そこに橋を架けることである。橋を架ければ、学生も、商業も農業も、色々な分野の人達が行き来するようになり、それが海外姉妹都市の完成図だと思う。
- ・既に交流をやっている市町村を見ても、子ども中心の教育交流などがメインであると思うので、その辺をまず始め、段階を踏んで徐々に広げていけば良いと思う。
- ・教育交流では、特定の子どもだけを選別して交流をするのではなく、なるべく多くの児童・生徒に機会を与えられることが一番良いのではないかと考えている。やはり、インターネットやスカイプを使った交流からまず入って行って、行き来できるような「環境作り」からスタートするのが良い。
- ・調印式に、100人や200人規模の大型のツアーを組んで、各種団体の人たちに声をかけて、現地に行くことと良い。現地を見てもらうことにより、新たな交流も生まれてくる。

交流事業の実施体制について

作業部会では、海外姉妹都市提携後は、(仮)交流協会を立ち上げて、交流事業を実施していくのが望ましいということを確認した。

1 (仮)交流協会についての考え方

- ・海外との交流を進めるにあたっては、しっかりとした組織を作っていく必要がある。
- ・海外との交流事業だけでなく、国内の姉妹都市・友好都市（大空町、相馬市、野沢温泉村）との交流事業も行うことができる組織が良い。
- ・組織は、(仮)交流協会のような外部的な組織を立ち上げるが良い。
- ・市内の様々な団体の協力を得ながら、行政との協働で組織を立ち上げ、将来的には独立した組織とするが良い。
- ・在住外国人とのコミュニケーション事業の実施や情報交換機能などを持つが良い。
- ・姉妹都市以外であっても、色々な都市との交流が進んで来れば、交流協会を対象とできるものとするが良い。